

氏名	佐々木大輔	所属	材料システム工学科	職位	准教授
----	-------	----	-----------	----	-----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
		計画	実績	
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	20	1 前期と後期でそれぞれに本科の専門7科目の授業を行う。 2 授業に関する資料や課題により授業内容を活用できる環境を整える。 3 卒業研究(3名指導), 専攻科研究(4名指導)を行う。 4 学会の教育部会と連携して高専マテリアルコンテストを運営する。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	40	1 固溶元素に関する研究を本科生・専攻科生とともに進める。このテーマで科研費を申請する。 2 外部機関と衝撃特性に着目した研究を共同で研究する。 3 第一著者として補修に関する研究成果を論文発表する。 4 GEARユニットサブリーダーとして研究を遂行する。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	10	1 剣道部顧問として普段の活動支援と遠征に随行する。 2 九州沖縄地区剣道専門部委員として, 運営を行う。 3 高専マテリアルコンテストの指導を行う。
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	20	1 教務主事補として教務運営に関わる公務を担う。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	10	1 専門分野の学術論文の査読審査を行う。(依頼ベース) 2 実行委員長して高専マテリアルコンテストを実施する。 3 主担当としてKOSEN水素フォーラムを実施する。
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名	佐々木大輔			所属	材料	職位	助教	報告年度	令和5年度
分野	計画				実績		記載事項例		
	エフォート	内容			エフォート	内容(計画からの変更点)			
教育	20	授業(材料力学・機械加工学・材料システム実験5・材料システム工学科工学入門・材料強度学・応用設計製図CAE) 卒業研究(4名指導) 専攻科研究(3名指導)			20	全てを計画通り実施した。	担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導 学生教 教育方法改善内容		
研究	40	国内誌2本 国際誌1本 共同研究4件(NIIMS・東北大・GEAR・企業) 国際会議発表1件 国内学会発表2件 助成金4件(科研費・NEDO・JKA・GEAR)			40	概ね計画通り実施した。	論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金		
学生生活指導	10	剣道部代表顧問 (九州沖縄地区剣道専門部副委員長)			10	計画通り実施した。	クラブ顧問 コンテスト指導		
校務・管理運営	20	教務主事補			20	計画通り実施した。	主事 その他の長 学科長 委員長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員		
社会活動	10	機械学会・鉄鋼協会・軽金属学会・材料学会 NIMSとの連携広報活動 企業との共同研究 「局所塑性に由来する損傷発達および破壊」研究会 会参画 「材料の組織と特性部会」若手フォーラム参画 「マルテンサイトの強靱化」研究会参画			10	計画通り実施した。	所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動		

(注) エフォートは各職務にかかる(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。